

第3回 カーボン・オフセット大賞 事例集



主催：カーボン・オフセット推進ネットワーク

後援：環境省、経済産業省、農林水産省

第3回カーボン・オフセット大賞

授賞式

開催日時 2014年3月4日(火) 12:15~13:15

開催場所 東京国際フォーラム 展示ホール1

授与者 北川知克 環境副大臣
磯崎仁彦 経済産業大臣政務官
横山信一 農林水産大臣政務官
新美育文 明治大学 法学部 専任教授
(第3回カーボン・オフセット大賞 審査委員長)
田畑日出男 一般社団法人海外環境協力センター 理事長
片山徹 カーボン・オフセット推進ネットワーク 事務局長



・上段右より公益社団法人日本学生陸上競技連合 神尾氏、菊水酒造株式会社 島村氏、一般社団法人エコ食品健研究会 久保氏、株式会社川島織物セルコン 磯氏、高知県 味元氏、日立建機株式会社 山本氏
・中段右よりカーボン・オフセット推進ネットワーク事務局長 片山、株式会社リコー 新村氏、愛知県立南陽高等学校 兵藤氏、株式会社ヨンパ 藤田氏、一般社団法人海外環境協力センター 田畑氏、審査委員長 新美氏
・下段右より金ヶ崎産直組合 伊藤氏、日本興亜損害保険株式会社 磯谷氏、横山信一農林水産大臣政務官、北川知克環境副大臣、磯崎仁彦経済産業大臣政務官、大阪ガス株式会社 領木氏、大阪サッカークラブ株式会社 森島氏

第3回カーボン・オフセット大賞 授賞式

受賞団体とその取組

環境大臣賞

日本興亜損害保険株式会社

お客さまと被災地をつなぐ、日本の森林を守る「被災地産 J-VER」の活用

経済産業大臣賞

大阪ガス株式会社・阪神タイガース・阪神甲子園球場【活動①】

大阪ガス株式会社・セレッソ大阪・ヤンマー株式会社【活動②】

関西の中小企業省エネ対策と地元スポーツチームのカーボン・オフセット活動

農林水産大臣賞

金ヶ崎産直組合

金ヶ崎産直組合による農産物の付加価値向上及び地域活性化プロジェクト

優秀賞

愛知県立南陽高等学校 NanyoCompany 部

愛知県立南陽高等学校 NanyoCompany 部のカーボン・オフセットの取り組み

株式会社ヨンパ

ティッシュ全商品のカーボン・オフセット

株式会社リコー

「グリーンPOD研究会」を通じた、「カーボンフットプリント」「カーボン・オフセット」の普及促進

奨励賞

一般社団法人エコ食品健研究会・大阪前田製菓・三幸食品・湖池屋・早稲田祭・

炊き出しグランプリ実行委員会・気仙沼ダンススタジオ・カネフク製菓ほか

プラス (+) カーボン・オフセット プロジェクト 進行中

株式会社川島織物セルコン

床からエコ ～「捨てる」から「活かす」へ

菊水酒造株式会社

KIKUSUI Style Bottle

高知県

公共工事のカーボン・オフセットへの取組

公益社団法人 日本学生陸上競技連合

秩父宮賜杯第45回全日本大学駅対校選手権大会実施運営におけるカーボン・オフセット

日立建機株式会社

カーボン・オフセットをお客様とともに

目次

◆ご挨拶

◆第3回カーボン・オフセット大賞授賞式

◆カーボン・オフセット取組事例



1. 建設・不動産

アオイネオン株式会社 <C・O・S®(カーボン・オフセット・サイン)>	1
NTT都市開発株式会社・株式会社NTTデータ経営研究所 <サービス付き高齢者向け住宅におけるカーボン・オフセット>	2
第一カッター興業株式会社 <ウオータージェット工法によるコンクリート床版はつり工事のカーボン・オフセット>	3
株式会社 日比谷アメニス <カーボン・オフセット付き緑地メンテナンスサービス>	4
ミタニ建設工業株式会社 <地方建設業から地域に広げるGHG排出量抑制の輪>	5
株式会社都田建設 <DLoFre'sが世界を変える「Gaia Harmonic Life」>	6

2. 製造

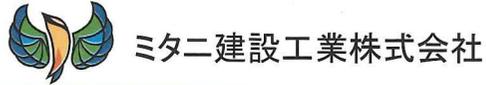
奨 株式会社川島織物セルコン <床からエコ ～「捨てる」から「活かす」へ>	7
奨 菊水酒造株式会社 <KIKUSUI Style Bottle>	8
クラリオン株式会社 <「クラリオンTechShow 2013」使用電力にかかわるカーボン・オフセット>	9
ツタイ工業株式会社 <再生プラスチックを原料にした製品の製造時に発生するCO ₂ をオフセット>	10
東洋インキSCホールディングス株式会社 <印刷インキ及び印刷物に関するカーボン・オフセットの取り組み>	11
原正商会 <竹炭パッド入り製品での地産地消型カーボン・オフセット>	12
奨 日立建機株式会社 <カーボン・オフセットをお客様とともに>	13
優 株式会社ヨンパ <ティッシュ全商品のカーボン・オフセット>	14
優 株式会社リコー <「グリーンPOD研究会」を通じた、「カーボンフットプリント」「カーボン・オフセット」の普及促進>	15

3. 卸売・小売

農 金ヶ崎産直組合 <金ヶ崎産直組合による農産物の付加価値向上及び地域活性化プロジェクト>	16
株式会社スタイリングライフ・ホールディングス プラザスタイル カンパニー <“バーバパパECOミント缶とショッピングバッグでカーボン・オフセット”>	17
有限会社D1ケミカル <未来のドライバーたちを応援するカーボン・オフセットプロジェクト>	18
株式会社山善 <独自手法でカーボン・オフセットを推進するグリーンボールプロジェクト>	19

地方建設業から地域に広げるGHG排出量抑制の輪

～削減目標未達成のCO₂量をカーボン・オフセット～



ミタニ建設工業株式会社

近年の建設業界をとりまく環境は厳しく、特に技術者不足が大きな問題となっています。しかし東日本大震災後における地元建設会社の活躍は大きく報道され、重要視されております。弊社はこの厳しい難局に耐え抜き、更に地域社会に貢献できる様、GHG抑制活動に取り組み、CO₂削減や様々なCSR活動を公開し、建設会社の透明化を図りました。GHG抑制活動の取組みとして様々なCO₂削減対策を実施し、更に年間目標値を超えたCO₂量に対してはJ-VERを活用しカーボン・オフセットしております(昨年度:20t-CO₂)。また、平成25年4月には高知県安芸郡芸西村にソーラー発電所を開設し、地域エネルギーに貢献すると共に、地元住民・業者・学校を招き、見学会・勉強会を実施しています。

弊社はこれらの活動により、地域とのコミュニケーションを図り、地域に根付いた建設会社として存続・成長し、近年中に発生するとされる南海トラフ地震に備え、地方建設会社の役割を果たしていきたいと考えています。

■カーボン・オフセットの内容

弊社は GHG 排出量抑制活動に取り組んでおり、以下の環境方針を掲げ、内外に示しています。

① 再生利用(リサイクル)

弊社は再資源化の為の分別を行います。

② 再利用(リユース)

弊社は再利用する事を考えます。

③ 減量(リデュース)

弊社は効率を高めムダを減らします。

④ 発生回避(リヒューズ)

弊社は unnecessary な物を買いません、受取りません。

この活動に対し、年間CO₂発生量を定め、その目標に対し達成できなかったCO₂量を高知県が創出したクレジットでカーボン・オフセットしています。その取組はCSR活動の一つとして公表しています。



現場事務所のグリーンカーテン化

■ステークホルダー(地域住民、消費者含む社内外関係者)を巻き込む創意工夫

一般的に建設会社は、多くの重建設機械や人を使う事で大量のCO₂を排出します。更に建設会社は現場を遂行するうえで、周辺住民の協力無しに工事を進める事は不可能であり、その為にも建設会社の周辺環境に対する配慮は必要不可欠であります。そこで弊社は年間CO₂排出量目標値を設定し、社員一丸となり、グリーンカーテン化や低排出ガス仕様の重機使用、アイドリングストップ等、様々なCO₂抑制対策を実施しております。また、電力保安協会より講師を招き、節電の勉強会を実施し、社員の意識向上も図っております。そして年

間CO₂排出量の一部をJ-VERを活用し、オフセットしております。

これらの活動に加え、様々な地域ボランティア・イベントも実施しており、将来的には地域に浸透した建設会社として存続・成長していくと共に、地方建設業界からJ-VERを活用する事で、新たな森林整備が実施されるという一つのサイクルを築き上げたいと考えています。

■その他、アピールポイント

高知県の森林面積は84%と、全国トップであります。しかし森林業界も地方建設業界と同様に人手不足等の問題を抱えており、衰退傾向にあるのが現状であり、山林の放置化による荒廃が進んでいます。

弊社は、木質バイオマスを活用する高知県のJ-VERプロジェクト「高知県木質資源エネルギー活用事業」に賛同し、創出されたクレジットでカーボン・オフセットを実現しました。たくさんの建設会社がこの活動に賛同することで、森林業界の活性化となり、雇用が生まれ、間伐等が実施されることで新たなクレジットが創出されると考えたからです。オフセット後には、弊社の活動について建設会社からの問い合わせが数件あり、今後広域的に展開されていく事が予想されます。建設業界のGHG排出量に対する意識向上と活動が、大きな役割を果たせると確信しており、弊社は地域に根付いた地方建設会社として活動を継続していきます。



様々なCSR活動

- ・左上: 地元神社の清掃活動
- ・左下: 小学生の現場見学会
- ・上: 高校生のソーラー発電所見学会

カーボン・オフセット データ

取組の対象範囲

・弊社の年間CO₂排出量(本社・現場)に対し、GHG抑制活動で設定した目標値を差し引き、クリアできなかったCO₂量

取組の実施期間

2012年4月1日～(継続中)

クレジットの種類及びプロジェクト名称

【J-VER】

・高知県木質資源エネルギー活用事業B

カーボン・オフセットに関する情報提供サイト

<http://www.facebook.com/mitaken.net>

問い合わせ先

ミタニ建設工業株式会社

〒780-8086 高知市針木東町27番28号

担当: 佐々木武

TEL 088-844-2111

E-mail takeshi.sasaki@mitaken.net

担当者からの一言メッセージ

日本の未来の暮らしを創り出す建設会社が担う役割として、インフラ整備だけでなく、環境の視点から日本の未来に還元できる環境活動として取り組み、又、様々な活動の輪を地域から広げていきたいと考えています。



J-VER契約締結式

(売私人:高知県 買受人:ミタニ建設工業(株))